

大型変圧器 2 台を貨車輸送

1 概要

2015年5月、大型変圧器を2台連結して貨車輸送した。最終目的地の変電所は新潟県にあるが、輸送コスト面から千葉県市原市の港まで貨車で運び、その後は新潟の港まで海上輸送である。工場から小山駅までは東光高岳が保有する貨物専用線がつながっており、日本貨物鉄道株式会社との授受線までの約2kmを途中の踏切操作なども行い、東光高岳で輸送した。

2両連結した貨車輸送は約15年ぶりであり、変圧器を積載する貨車も特殊なもので「シキ車」と呼ばれており、今回使われた落とし込み式のシキ車は全国に2台しかない。1台は三重県から回送してきた。

写真は東光高岳の貨物専用線を走行している風景であるが2両連結の貨物をけん引する機関車も重量の関係で2両使用している。最後尾には日本貨物鉄道株式会社の社員が添乗する緩急車と呼ばれる車両も連結されており、全長は100メートルを越す。

鉄道での変圧器輸送は臨時貨物扱いとなるため、1年以上前からの鉄道輸送路調査とダイヤ調整が必要となる。基本的に臨時ダイヤは一般には公開されていないが、どこから聞きつけてきたのか、工場からの搬出当日は平日にもかかわらず、多くの鉄道ファンが集まった。



シキ 800C 型式貨車 工場出発



東光高岳貨物専用線での輸送風景
シキ 800C + シキ 801B2C + 機関車 + 機関車



日本貨物鉄道株式会社へ引き渡し